

2019年2月4日

朝礼の話 (2019年2月)

皆さんお早うございます。昨日が節分、今日が立春となり、一足早く旧暦では春の季節となりました。中国他アジアの華人系の人たちや韓国の人たちは、今夜が除夜、明日が春節（旧正月）の元日を迎えます。当社の京佳商貿（大連）も今日から一週間春節休みとなっています。中国はじめアジア各地では多くの人たちが帰省して春節を祝いますが、この春節休暇を利用してたくさんの観光客も日本にやってきました。昨日、今日と南から暖かい空気が流れこみ、平年以上の気温となっていますが、週末にかけ気温は平年もしくはそれ以下に戻るようです。全国でインフルエンザが猛威を振るっています。あともう少し油断せずにこの寒い季節を乗り切っていきましょう。

最近最も注目したスポーツの出来事は、大坂なおみ選手のテニス全豪オープン初優勝です。先月26日メルボルンで行われた女子シングルス決勝で、第4シードの大坂が第8シードのベラク・クビトバ（チェコ）を7-6、5-7、6-4で退け、日本人として初めて優勝しました。昨年の全米オープンでの初優勝に続く四大大会2連勝となりました。大会後の世界ランキングで、それまで4位の大坂は男女通じてアジア選手初の世界1位となりました。第1セット、大坂が接戦の末タイブレークを制して先行しました。第2セットも、5-3からのリターンゲームで0-40と3つのマッチポイントを握りましたが、クビトバの驚異的な粘りと勝利への執念に圧倒され、最後の1ポイントが奪えず、4ゲームを連取されて、第2セットを落としました。第3セットに入る前、コートを離れ落ち着きを取り戻し劣勢に立ち向かいました。第3ゲームでサービスブレイクし先行するとその後のサービスゲームを着実にキープし、第10ゲームサービスエースで勝利をもぎ取りました。フルセットを戦い抜く体力・技量とともに劣勢でも耐え抜く精神力を身につけ、昨年の全米オープン初優勝以後、心身ともに急成長を遂げました。名実ともに世界第一人者の道を歩み始めたといえます。

大坂選手はハイチ系米国人の父と日本人の母のもとに生まれ、日米の二重国籍を持っています。お母さんは北海道出身で、お父さんが英会話の講師として札幌に滞在中に知り合い結婚。結婚後大阪に移住し、プロテニスプレーヤーの姉のまり選手となおみ選手が誕生しました。なおみ選手が3才の時、一家は米国のニューヨーク州ロングアイランドに移住し、姉の影響でテニスを始めました。その後、一家はフロリダに移住し、現在も自宅と練習拠点はフロリダにあります。両親は、無名時代から支援を続けてくれた日本のスポーツ用品メーカーや日本テニス協会に恩義を感じ、日本代表として登録することを選んだそうです。大阪選手の母語は英語で日本語はカタコト程度ではありますが、全豪オープンの表彰式でのスピーチは、謙虚さ、正直さ、礼儀正しさ、相手や廻りの人たちへの思いやりに溢れ、日本人の良さや日本の美德を見事に表現してくれました。米国のマスコミやファンの間でも彼女の謙虚さ、素直さが大変好感されているようです。これからも日本を代表する世界のトッププレーヤーとして長く活躍し、輝いてほしいと願います。 以上